

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	文化国際課文化振興室長 早弓太	電話番号	0852-22-6776
----------	-----------------	------	--------------

事務事業の名称	文化を担う人材育成・顕彰・奨励事業		
目的	(1) 対象	文化芸術活動を行う県民	
	(2) 意図	より一層活動を活発化させるとともにそのレベルアップを図る。	
事業概要	本県における文化の発展に貢献することが期待され、その活動を奨励するにふさわしいものに奨励賞を送り、これを表彰する。		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 島根県文化奨励賞の表彰件数	目標値		2.0	2.0	2.0	2.0	件
		取組目標値						
	式・定義 表彰件数	実績値	2.0					%
		達成率	-	-	-	-	-	
2	指標名	目標値						
		取組目標値						
	式・定義	実績値						%
		達成率	-	-	-	-	-	

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b)(千円)	221	174
うち一般財源(千円)	221	174

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した(実施予定、一部実施含む)
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状(客観的事実・データなどに基づいた現状)

本県文化振興への貢献が期待できる活動を行っているものを毎年1~2名表彰している。

6. 成果があったこと(改善されたこと)

各推薦団体に対し本事業の必要性、効果を様々な機会をとらえ周知し、表彰対象者の確保に努めた。

7. まだ残っている課題(現状の何をどのように変更する必要があるのか)

- ①困っている「状況」  
表彰対象者及び推薦団体が減少している。
- ②困っている状況が発生している「原因」  
・表彰の必要性、効果が推薦団体に十分周知されていない。  
・文化活動を実施している人の情報を推薦団体が十分に把握していない。
- ③原因を解消するための「課題」  
・文化活動を長期にわたり実施している団体、個人の場合は活動状況の把握が容易であるが、まだ活動期間が短い場合は把握が難しい。

8. 今後の方向性(課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

- ・今後も本事業の必要性と効果を選考委員会や推薦団体に対して周知する。
- ・これまで表彰から漏れた団体、個人を推薦した団体に対し、再度、申請が可能であるか検討するよう依頼する。

9. 追加評価(任意記載)

・課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。  
・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。